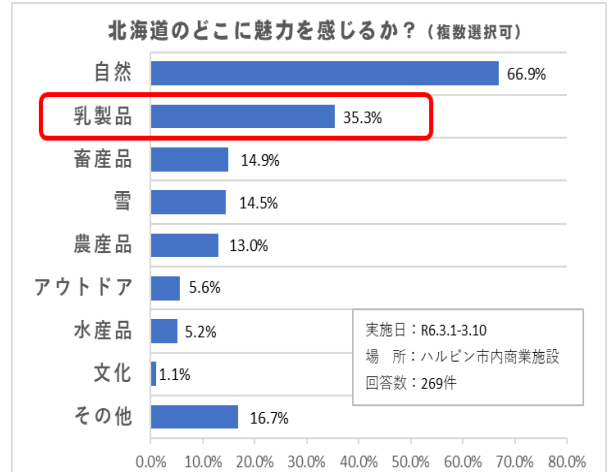


（件名）中国における北海道産品について

1. 中国における北海道のイメージ

- ・中国のスーパーマーケットや飲食店では「北海道」の文字が記載された商品やメニューを目にすることが度々ありますが、本当に道産素材を使用したものから、全く北海道と関係のないものまでその内容は様々です。
- ・そもそも中国では北海道に対してどのようなイメージを持っているのでしょうか？過去に中国内で実施した「北海道のどこに魅力を感じるか」というアンケートにおいては、自然（全体の 67%）、乳製品（35%）、畜産品（15%）が上位で選ばれました。食品の中では乳製品が突出しており、北海道を代表する産品と受けとめられているようです。



2. 中国で販売されている北海道産品

- ・上海市やハルビン市で見かける代表的な北海道産品は次のとおりです。

- 菓 子：クッキー、ビスケット、チョコレート、キャンディー、せんべい、豆菓子などが販売されています。前述のとおり「北海道＝乳製品」のイメージが強いためか、道産の牛乳を使っていることが分かりやすいもの（パッケージに牛や北海道のイラストが入っているなど）が多い印象です。
- 調味料：味噌や醤油が販売されている他、特に目立つのは北海道の名物グルメで使用する調味料がよく店頭に並べられています。例えば、ジンギスカン、豚丼、ザンギ、ラーメンサラダに使用するたれについては道内メーカーの商品が多くを占めています。店頭での試食などを通じて味や使用方法を広めたことで、定番商品として選ばれているようです。
- 米：ななつぼし、ゆめぴりかななどの道産米が販売されています。小売りの他、業務用として飲食店での需要も広がっています。
- 納 豆：道産大豆を使用した商品など、道内メーカー産の商品をよく目にします。中国在住の日本人に加え、健康志向の中国人がリピートして購入する模様です。
- 酒 類：日本酒を中心に日本各地の商品が輸入されており競争が激しい中、一部の道産商品は小売店や飲食店で取り扱いされています。



多数の酒類を揃えるハルビン市のスーパー

（件名）北海道経済交流室長の上海着任について

- ・本年 4 月の人事異動に伴い北海道経済交流室長が亀井へと交代となりましたが、この度ビザ取得手続きなどを経て、今月上海に着任しました。
- ・6 月には日本産水産物の輸出再開（一部地域除く）や、7 月には牛肉の輸出再開に向けた動きが報じられ、経済交流拡大の契機の一つとして関係者の注目が集まっており、早速、北海道経済交流室にも中国向け水産品輸出の具体的なルートの確認や、再開後を見据えたプロモーションなどの相談が届いているところです。
- ・中国市場の動向を現地でタイムリーに捉えながら各種交流の支援に取り組んでおりますので、中国での販路拡大や広報活動などの際には当室をぜひご利用ください。